

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

| | |
|------------------|--|
| 担当課・係名 | 産業緑地課 産業振興係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号 63-1111・283）】 |
| 第4次総合計画の 該当項目 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 節 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 項 <input style="width: 150px;" type="text"/> |

| | | | | |
|----------------------------|--|----|------------|----|
| 業務の名称 | 農業振興に関すること | | | |
| (1) 根拠法令・条例 | 米政策改革基本要綱、水田農業構造改革対策実施要領 | | | |
| (2) 当該業務量 (延人員規模含む) | 総業務量の <u>30.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>288</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日) | | | |
| (3) 事業費 (人件費分を除く) | <u>1,590</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する)) | | | |
| (4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載) | <u>100</u> % (平成20年度実績) | | | |
| (5) 業務期間 | 開始した年度 | 年度 | 終了 (予定) 年度 | 年度 |

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

| | |
|----------------------------|---|
| ①業務目的 (達成目標) | 米の生産調整を推進するとともに、農業の振興を図る。 |
| ②業務が対象とする住民 (地域、層) | 農業者、農協 |
| ③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績) | ①米の生産調整を推進するための産地づくり交付金及び米生産調整推進対策事業補助金 ②農業団体を育成するための営農振興事業補助金 ③町民まつりと同時開催される農業展補助金 |

| | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------------|--------------|--------|--------|--------|------------|-------|
| ④業務の実施結果 (平成20年度実績) | 県から割り当てられる米の需要量を達成することができた。 | | | | | | |
| | 【業務結果の説明指標】 | | | | | | |
| | | 結果の説明指標 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 実績 | 将来目標 |
| | 1 | 産地づくり交付金対象者数 | 27 | 28 | 25 | 18 | 25 |
| | 2 | 転作面積 (a) | 1,559 | 1,475 | 1,476 | 1,501 | 1,600 |
| | 3 | 営農振興団体数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 4 | 農業展共進会出品数 | 444 | 516 | 433 | 407 | 450 | |
| 5 | 生産調整達成率 | 119.5% | 103.2% | 100.3% | 100.2% | 100% | |

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

米の作付けを抑制する生産調整の手法から、不作付地の活用を目指す自給力向上の手法への転換が想定される。

| (8) 改善実績 (過去4年間の実績) | |
|--|--|
| 国・県から示される生産調整方針にのっとり、地域水田農業ビジョン、産地づくり計画書を改定した。 | |

| (9) 業務の評価 (自己診断) | | |
|--|--|-----------------|
| 評価基準 | 評価の視点 | 三段階評価 (2~0点) |
| ①目的の達成状況 | 業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。 | 2点 |
| ②コストパフォーマンス | 成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。 | 1点 |
| ③業務方法の最適採用 | 業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。 | 2点 |
| ④住民の満足・信頼獲得 | 受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。 | 1点 |
| ⑤総合計画との整合 | 総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。 | 1点 |
| ⑥他都市との比較 | 近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。 | 1点 |
| 2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている | | 平均 1.3点 |

| (10) 総合評価 (課の見解) | |
|---------------------|---|
| ①今後の方向 (該当番号に○印) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) 4. 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。 |
| ②評価理由 | 生産調整の実施は、国の施策であり、その方針に沿って継続していく。 また、国・県から示される米の生産に係る需要量を達成しており、今後も継続して生産調整を推進していく必要がある。 |

| (11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること) | |
|--|------------------------|
| ①改善目標 | 生産調整参加者を増加させる。 |
| ②改善時期 | 毎年度。 |
| ③改善方法 | 生産調整参加者への補助等を農業者へ周知する。 |